



— 本日のプログラム —

- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆卓話 徳野喜一郎会員

第2726回例会（11月26日）報告

司会：曾又博史 S A A 副委員長

- ◆開会点鐘 今井善弘会長
- ◆ロータリーソング『四つのテスト』
- ◆ゲスト紹介 新横浜 R C 会員 岩 和志 氏
- ◆会長挨拶 今井善弘会長



今日は例会の最初に当たり前のように歌っているロータリーソングについての話です。

ロータリーの100年を超える歴史において「歌を歌うこと」を始めた人物は、1905年ロータリーが創立した時にポール・ハリスら最初の会員4人に次いで5番目に入会した印刷業のハリー・ラグルスという人です。ロータリー誕生後2年目に親睦か奉仕かで会員の意見が割れ、出席率も低下してシカゴクラブが崩壊寸前となったので、時の親睦委員長の医師ウイリアム・ネフが歌が趣味のハリー・ラグルスに楽しく歌うことにしたらどうだろうと提案し、毎回の例会で歌うことによって雰囲気は改善されたそうです。これが何年も続いて、例会での合唱はロータリーの伝統となったそうです。

日本はというと、1920年創立の東京ロータリークラブは英語のまま歌っていたそうです。やがて、日本語によるロータリーソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我らの生業」が1935年（昭和10年）に京都での地区大会において発表されました。

この「奉仕の理想」が発表された5年後には日本のロータリークラブは、戦争のため国際ロータリーを脱退し、解散を余儀なくされることになりました。そうしたロータリー苦難の時代を耐え抜いたこの歌の歴史は尊重されて、現在まで引き継がれています。

戦後に作られたロータリーソングとしては、1951年に東京 R C の矢野一郎さんの作詞作曲によって「手に手つないで」が、1953年に「それでこそロータリー」が作られています。ロータリーソングの大半が日本人の作詞作曲であるのに対し、1973年に作られた「四つのテスト」は、元々和訳されていた四つのテストに曲をつけたものと言われています。

世界のロータリーではヨーロッパ、南米、アジアの一

部のロータリークラブの例会ではロータリーソングが歌われることはあまりないようですが、アメリカ、カナダ、オーストラリア、日本、ニュージーランド等さまざまな国でロータリーソングは友好・親密な雰囲気を作るということで、例会において歌われております。

◆出席報告 保下信一出席・ニコニコBOX委員

11月26日の暫定出席率：66.67%  
(出席20名、欠席10名)  
11月13日の確定出席率：100%  
(出席30名、欠席0名、メーク加算0名)

- ◆ニコニコBOX報告 保下信一委員
- ・岩さんようこそ輪島ロータリークラブへ。卓話よろしくお祈いします。 今井善弘会長
- ・岩さん輪島 R C へようこそ。卓話楽しみにしています。 古川 豊幹事
- ・本日はよろしくお祈い致します。新横浜 R C 岩和志氏
- ・岩さん、卓話よろしくお祈いします。 大向洋紀会員
- ・岩さん、ようこそ輪島ロータリーへ!! 卓話宜しくお祈い致します。 柴田 薫会員
- ・岩さん、お久し振りで。卓話よろしくお祈い致します。 徳野喜一郎会員
- ・岩さんようこそ。本日の卓話よろしくお祈いします。 久岡政治会員
- ・クラブの皆様、本日は「叱咤激励」の会を設けて頂けるということで誠にありがとうございます。久岡政治会員



◆卓話 新横浜 R C 会員 岩 和志氏

テーマ『新横浜 R C に関して・テレビ神奈川』

新横浜 R C の出席一覧表を見ながら出席率の向上についてお話頂きました。テレビ神奈川でのサンテック(株)の取り組みに関する放送を見せていただきました。



- ◆閉会点鐘 今井善弘会長
- 〔編集：山上剛史会員〕